



研究所だより

相良 孝雄

2018年度の協同総合研究所もあと1か月となりました。

毎年4月に協同総研の事務局メンバーで、今年度総括・次年度方針を検討する合宿を行なっています。それに向けて今回は私から見た研究所の成果をメモとして研究所だよりにまとめるとともに、会員の皆さんから来年度に向けて協同総研に期待することや共に行いたいことをお寄せいただけると嬉しく思います。(5月末の議案書ダイジェストの発行、6月29日一般社団法人協同総研総会の内容に活かしたいと思います。)

昨年5月に協同総研の新パンフレットを440Hzのみなさんと共につくり完成しました。パンフレット作成を通じて研究所が目指すこととその役割をはっきりすることができました。役割として「研究」「調査」「政策提言」「学び」「開発」を掲げ、「労働者協同組合」法が制定直前の情勢において「協同を基礎に、連帯社会を創造する『協同労働・協同組合』のシンクタンク」として自らを位置づけました。協同総研は1991年に設立され、今年は28年目を迎えています。3年前に25周年記念集会を企画したとき、研究所に関わってきた先人たちの考えや成果を振り返るなかで、2018年度はその成果を参考にしながら、日本社会で「労働者協同組合」が社会化する上での問いを出し、それに対する解を提案できるところまで

たことは1つの成果であったと考えています。

今年度の特徴的な研究の1つとして、法制化後を見据えた労働者協同組合の設立のあり方やその主体形成について「新しい協同労働の協同組合組織化」研究会、海外調査(スペイン・イタリア)、「ワーカーズコープ設立運営ハンドブック」(現在作成中で6月総会までには作成)を通じて深めたことです。スペインでは20,958の協同組合のうち17,150は労働者協同組合で運営しています。この背景には労働者協同組合を設立・運営するにあたって200カ所を超える設立・相談支援センターが設置され、バルセロナ市などの自治体では労働者協同組合をも含む社会的経済・連帯経済を推進する施策が新しい社会像として力強く推進していることがありました。2月下旬にはイタリアに訪問し、コミュニティ協同組合の実践や中間支援組織、研究機関を訪問しますが、地域住民や行政も組合員になり、住民自身が地域づくり、仕事おこしの主体形成と協同組合における事業・運動の継続性を深められればと考えています。コミュニティ協同組合の実践は、労協センター事業団が推進している「みんなのおうち」(地域づくりの拠点化・ネットワーク化)構想の実践を進める上で、多くのヒントがあるのではと考えています。

もう一つ、年間を通じて研究所の取り

組みで特質すべきこととして、大学でのワーカーズコープ論寄附講座の広がりです。労協センター事業団の各事業本部、日本社会連帯機構と連携し、3大学(2017年度)から9大学(2018年度)まで開講が広がりました。「協同で働くこと」「自らが主体となり地域をつくる」ことをキーコンセプトにアクティブラーニングの一環としてグループでの討論・発表など、学ぶ当事者である学生が主体となり、協同で学ぶ過程を大切にしています。学生や教員の方々の多くは「協同労働」を共感を持って受け止められています。福島大学では講座をきっかけに映画「Workers 被災地に起つ」の上映応援団ができ、映画上映に大きな弾みをつけています。また沖縄キリスト教学院大学では、寄附講座担当の玉城先生のゼミ生が労協センター事業団に入団します。「学生の学び」を中心軸に据えながら、自らの「働くこと=生きること」と向き合い、「協同」で社会をつくる主体が増えることは、研究所のネットワークを活かした取り組みになりました。

ネットワークといえば、昨年5月に日本協同組合学会の大会をはじめて日本労協連の会場で開催したこと、そして学会

大会前日に協同組合関係の研究所が集まり座談会を開催したことは、協同組合研究者・研究組織に少しでも労働者協同組合について興味を持っていただくきっかけの1つになったと思います。協同組合関係研究所の交流会は、2019年5月14日にJCA(日本協同組合連携機構)が主催し開催予定です。交流会開催にあたり1人の実行委員として、多くの「協同」を価値とする団体・個人とのプラットフォームをつくりたいと思います。この想いと同じですが、3月23日に「協同総合研究所関西会員集会」を開催します。協同総研をプラットフォームとして東京での研究会・交流会以外に各地域でも会員同士のネットワークと関西における労働者協同組合の事業・運動の発展の1つの契機として、大学や会員が多い関西で企画をしようと思いました。

2018年度から2019年度へ、平成から新元号に変わるなかで、「何を問うのか。そしてその解は何か」という「学問(問いを学ぶ)組織」であると同時に、「労働者協同組合の社会化戦略」を描く研究所として、今後の研究所の発展に微力ながら貢献をしていきたいです。

研究所活動日誌 (2019.2.1~2.28)

2月

1日(金)	沖縄キリスト教学院大学 玉城直美先生と懇談	14日(木)	全国よい仕事研究交流集会2019 事務局会議、ワーカーズコープ立ち上げ運営ハンドブック会議
2日(土)	第2回よい働き方研究会	17日(日)	地域子育てフォーラム
3日(日)	GSEF2018ビルパオ大会・日本実行委員会」東京報告会(相良報告)	18日(月)	みんなのおうち(ワークショップ)会議
4日(月)	協同総研中間監査	19日(火)	全国協同集會事務局会議
5日(火)	労協連合同5役会議、全国よい仕事研究交流集會事務局会議	2月20日(水)-3月1日(金)	協同総研イタリア研究・調査訪問(田中夏子・利根川・荒井)
6日(水)	協同総研事務局会議	21-22日(木-金)	センター事業団本部長・事務局長会議
9-10日(土-日)	JYCフォーラム 愛知大会	25日(月)	若田充子さんと懇談。本部シンポジオン
12-15日(火-金)	琉球大学ワーカーズコープ論寄附講座春季集中講義(高畑明尚先生)	26日(火)	茨城県神栖市波崎第二中学校人生の先輩に聞く会 出講(相良)
13日(水)	日本社会連帯機構理事会	27日(水)	社会的企業研究会100回記念出版打合せ
		28日(木)	日本協同組合学会 春季研究大会打合せ

今後の活動予定 (2019.3.1~3.31)

3月

2-3日(土-日)	全国よい仕事研究交流集会2019(駒澤大学)	14日(木)	第3回協同組合研究組織等の交流会 実行委員会
4日(月)	スペイン訪問振り返り会議(高橋巖先生・岡安・相良)	16日(土)	2018年度第4回協同総研理事会・研究会
5日(火)	労協連合同5役会議、センター事業団東京中央よい仕事ステーション会議	23日(土)	協同総研関西会員集会(京都・関西事業本部)
7日(木)	協同労働研究会	26日(火)	MUTUALITE FRANCAISE(フランスの共済団体)総研訪問
12日(火)	協同総研事務局会議	28日(木)	センター事業団本部長・事務局長会議
		29日(金)	労協連理事会

2018年度 協同総研理事会予定

第4回3月16日、第5回理事会5月18日 第7回総会2019年6月29日(土)

協同総合研究所

関西会員集会

プログラム

記念講演

池上 惇さん

「働きつつ学ぶ・学びと仕事おこしの共通基盤」



〔池上惇さんプロフィール〕京都大学名誉教授、京都大学博士（経済学）。福井県立大学名誉教授、京都橋大学名誉教授。一般社団法人文化政策・まちづくり大学校代表理事、文化政策・まちづくり大学院大学設立準備委員会代表者、国際文化政策研究教育学会会長、日本財政学会顧問、文化経済学会（日本）顧問、文化政策学会（日本）顧問。協同総合研究所とは、40年にわたる労働者協同組合運動の研究から繋がりをもち、ご著書「仕事おこしのススメ」を発行する。

集会企画

協同総研会員とワーカーズコープ関西事業本部のメンバーとの交流

終了後

懇親会

つながりは、力になる。

参加
無料

要事前
申込

2019年3月23日(土) 13:00~17:00

会場：労協センター事業団 関西事業本部 会議室

お申込み先

以下のお申し込みフォームにて、ご登録ください。
<https://goo.gl/forms/xrURmNv2wHdHdHkbt1>



←お申し込み用QRコード

※メール又は、お電話でも受け付けております

(電話) 03-6907-8033

(メール) kyodoken@roukyou.gr.jp

懇親会行います！

終了後、手作りの料理を食べながら懇親会を予定しております。お時間の許す限り、ご参加ください。
費用：3,000円



主催 一般社団法人 協同総合研究所

協同の叢見

開催概要

2019年は、「労働者協同組合」法（仮称）元年として、完全就労社会、共に生き、共に働く社会を目指して、協同総合研究所を運営していきたいと思えます。

協同総研の会員は、全国各地の研究者、実践家で構成されており、大学や協同総研の会員の多い京都において、関西会員集会を行う運びとなりました。会員同士の交流を図るとともに、ワーカーズコープ関西事業本部の組合員とも情報交換し、関西におけるワーカーズコープの事業・運動の益々の飛躍と、法制化後の住民によるワーカーズコープ設立の機運を高める契機にしたいと思えます。

協同労働に関心のある方の参加もお待ちしております。

会場案内

ワーカーズコープ
センター事業団 **関西事業本部**
京都市下京区大坂町400 三善ビル4F
(烏丸六条上ル・西側)



【交通案内】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「五条駅」8番出口 徒歩0分（駅出口直結）
- ・JR「京都駅」烏丸口（北側） 徒歩約15分
- ・京阪本線「清水五条」3番出口 徒歩約15分



お問合せ

一般社団法人 **協同総合研究所** **協同の叢見**
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3
池袋ISPタマビル7F
Tel: 03-6907-8033
Fax: 03-6907-8034
E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp



全国 よい仕事 研究交流集会 2019

社会をつくるよい仕事 - はたらく・くらす・しあわせの円環づくりへ -

3/2(土) - 3/3(日) 会場：駒澤大学
時間：1日目 10:30~17:30
2日目 10:00~16:30

＊協同労働の夜明け
協同労働の法制化という
歴史的な転換期を前に
自らの「よい仕事」を
ともに、見つめ直そう

全体会

3/2 土
10:30~17:30
駒澤大学記念講堂

■記念企画

平田オリザ さんと語る
「これからの『働く・学ぶ・暮らす』と
『地域』のあり方

聞き手 — 古村伸宏
日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会理事長



©AOKI

【平田オリザさんプロフィール】劇作家・演出家・青年団主宰。
こまばアゴラ劇場芸術総監督・城崎国際アートセンター芸術監督。
1962年東京生まれ。大阪大学 CO デザインセンター特任教授、東
京藝術大学 COI 研究推進機構特任教授、四国学院大学客員教授・
学長特別補佐、京都文教大学客員教授、豊岡市文化政策担当参与。
著書「演劇のことば」「新しい広場を作る」（岩波書店）、「演劇入
門」「わかりあえないことから」「下り坂をそろそろと下る」（講談
社現代新書）など。

■パネルディスカッション

「よい仕事、よい職場、よい暮らし（仮）」

分散会

3/3 日
10:00~16:30
駒澤大学3号館

■分散会 全国の協同労働・よい仕事の実践レポートを基に
実践を深めます。

■見本市（マルノシエ）
「協同労働の『ものづくり』見本市」

「住み慣れた地域を何とかしたい」「地域の困ったを何とかしたい」という当事者の切実な思いと、協同労働の出会い、そして私たちの「地域の困りごとを放っておけない」という思いが掛け合わされる事によって創り出されてきたワーカーズコープの「仕事おこし、よい仕事」。

協同労働の法制化という歴史的な転換期を前にして、自らの「よい仕事」を見つめ、「私」と「よい仕事」を中心軸に据え、仲間、職場、いのち、安心、暮らし、地域、経営、出資、学び、育ち、協同労働などのさまざまな関係や観点から、一人ひとりの「よい仕事」を考えてみよう。

＊申し込み・問合せ先＊

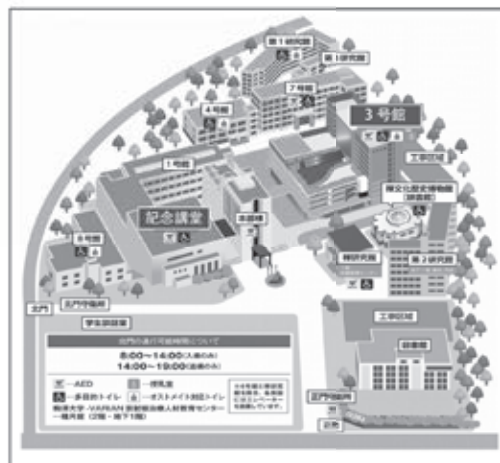
主催：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会 共催：一般社団法人 協同総合研究所
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋 ISP タマビル7階 TEL03-6907-8040 FAX03-6907-8041
E-mail rngukism@roukyou.gr.jp ホームページ <http://www.roukyou.gr.jp>

協同労働の取り組み

私たち協同労働の協同組合（ワーカーズコープ）は「共に生き、共に働く社会をめざして、市民が協同・連帯して、人と地域に必要な仕事をおこし、よい仕事をし、地域社会の主体者になる働き方」をめざして40年にわたり活動を行ってきました。私たちは、これまでの多種多様な「よい仕事」の実践の中から、全国各地であらゆる困難に立ち向かう中で、それぞれの課題の解消だけでは本質的な問題解決には至らず、地域社会を変えること、地域の人々との協同・連帯が必要だと実感し、全国各地で地域との関わり合いを深めています。

また多くの現場で社会的困難を抱える人々を、仲間として受け入れ、ともに働くなかで相互に成長しあう関係を育んでいます。地方創生や誰もが働ける地域づくりに向けて、協同労働が注目され、現在「労働者協同組合法」（仮称）法制化実現が目前に迫りつつあります。国連が2015年に定め国際目標となっている「持続可能な開発目標（SDGs）～誰一人取り残さない～」にも、協同組合は期待されており、その目標を達成するために、ワーカーズコープは力を注いでいます。

会場案内 駒澤大学 駒沢キャンパス 1日目：記念講堂 2日目：3号館



■交通案内 電車：東急田園都市線渋谷駅より7分「駒沢大学駅」下車、徒歩約5分
バス：東急バス渋谷駅より二子玉川行き・田園調布行、「駒沢大学駅」下車

参加費用 資料代（一般）1,000円（学生・障がい者500円）※両日、片方の日のみ参加のいずれも同金額

申し込み・問い合わせ先

右のQRコードからも申し込みできますー



日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会

TEL：03-6907-8040 FAX：03-6907-8041 E-mail：rngukism@roukyou.gr.jp

※お名前、ご住所、ご連絡先などの個人情報の記入欄を設けてありますが、それらの個人情報は今後のお知らせ以外の目的に使用することはありません。またご本人の同意なく第三者に提供することもございません。

下記の表に必要な事項をご記入の上、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会宛に送付してください。

参加申込書 FAX：03-6907-8041 日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会

フリガナ		男・女	ご所属 企業名 団体名 学校名 他	
お名前				
ご住所	T -	TEL	-	-
		FAX	-	-
		E-mail	@	
参加日程	ご希望の日に ○をつけてください	3/2のみ	3/3のみ	両日参加
お弁当申し込み	お弁当を1,000円（両日とも、飲み物つき）で販売します。 希望者は○をつけてください		3/2 弁当	3/3 弁当

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と問いたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格
1冊 1,000円
販売中!!

会員募集中!!

- 年会費：個人会員／購読会員 12,000円
学生・障がい者 6,000円 団体会員 30,000円
- 会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます
 - ・所報『協同の発見』誌(毎月1回)の会員価格適用での頒布
 - ・各種研究会への参加費の会員価格適用
 - ・書籍購入の際の会員価格適用

一般社団法人 協同総合研究所の主な活動内容

■協同総合研究所とは？

協同総合研究所は、日本における労働者協同組合運動を中心に、協同組合運動や協同運動の発展を期して、実践者、研究者の協力のもと1991年3月に設立、発足しました。「新しい福祉社会を創造する、協同労働に基づく社会連帯の知的センター」をめざして研究活動を進めています。

■研究会・協同研究の企画・運営

協同総合研究所は、だれもが参加できるネットワーク型の結びつきの中で、協同組合論・環境・福祉・教育・文化・労働・協同労働の法制化など、さまざまな分野の研究者たちが研究活動の成果を発表する研究会や協同研究の場を設け、広め、共有しています。その成果は、所報などを通じて、協同の事業体、働く者や市民が主人公となる組織や事業体を始めようとする人たちに還元され、また、地域や自治体などへの社会的な影響力をも創り出していくことを展望しています。

■所報『協同の発見』の発行

毎月1回発行している所報『協同の発見』では、協同労働の理論や実践、海外の先進的な情報を社会へ発信しています。また、会員自らの執筆、寄稿により、活動内容や考えを共有し、会員同士の交流にも役立っています。

一般社団法人 協同総合研究所 入会のご案内

当研究所は、日本で唯一の労働者協同組合(協同労働)の研究機関(シンクタンク)です。市民協同の事業運動、協同労働に関心のある方は、専門を問わずどなたでもご参加できます。

ぜひ、協同総研に入会し、市民協同の事業運動の発展をめざして、一緒に活動しましょう！

【預託金】 一口1万円(退会時返還) 【年会費】 団体3万円／個人1万2000円／学生・障がい者6000円

【会員サービス】会員の方は下記サービスが受けられます。

- ・所報『協同の発見』の頒布。
- ・各種研究会(不定期)への参加費の会員価格適用。
- ・書籍購入の際の会員価格適用。

【手続き】下記、連絡先までご連絡頂けましたら入会へのお申込書をご送付致します。

【連絡先】〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7F 協同総合研究所

電 話：03-6907-8033 FAX：03-6907-8034

メール：kyodoken@jicr.org ホームページ：http://jicr.roukyou.gr.jp

『協同の発見』へ投稿してみませんか？

協同総研の所報である『協同の発見』では、「協同」という概念を軸に、さまざまな分野の研究報告や現場からの発言の場として、会員の皆さまに寄稿していただいております。

ご投稿いただいた原稿内容は編集部で考査の上、掲載させていただきます。文字数などに規定はございませんが、都合により一部修正をお願いする場合もございます。なお、他の文献からの文章や写真、図版などを引用・転載なさる場合は事前に必ず著作権者から許可を得てください。

【投稿先】〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7F

協同総合研究所『協同の発見』編集部

電 話：03-6907-8033 FAX：03-6907-8034 メール：kyodoken@jicr.org